

## ウサギを用いた眼刺激性試験

### 依頼者

アサヒブリック株式会社

### 検体

アクアプロ21Rによる生成水

### 試験実施期間

平成11年9月6日～平成11年10月15日

### 試験実施場所

財団法人 日本食品分析センター 多摩研究所  
東京都多摩市永山6丁目11番10号

### 試験担当責任者

財団法人 日本食品分析センター 多摩研究所  
安全性試験部 安全性試験課

### 要約

アクアプロ21Rによる生成水を検体として、Federal Register(§163, August, 1978)に準拠し、ウサギを用いた眼刺激性試験を行った。

試験動物をⅠ群(非洗浄群6匹)及びⅡ群(洗浄群3匹)に分け、片眼に検体、他眼に対照として原水(水道水)を0.1 mL点眼した。その後Ⅰ群は非洗眼とし、Ⅱ群は30秒後に1分間眼洗浄を行った。その結果、Ⅰ群(非洗浄群)では点眼後1時間に2例の試験眼及び対照眼で眼瞼結膜の発赤が見られたが、24時間に消失した。Ⅱ群(洗浄群)では点眼後24時間に2例の試験眼及び対照眼、48時間に1例の試験眼、72時間に1例の対照眼で眼瞼結膜の発赤が見られたが、4日以降には刺激反応は見られなかった。

観察結果から得られた試験眼及び対照眼の平均合計評点の最高値(点眼後24時間以降)は、Ⅰ群では試験眼及び対照眼ともに0、また、Ⅱ群では試験眼及び対照眼ともに1.3(点眼後24時間)となった。

以上の結果から、検体はウサギを用いた眼刺激性試験において、「無刺激物」の範疇に入るものと認められた。

表-5 合計評点の経時的推移及び眼刺激性の評価(I群)

試験動物	各観察時間における合計評点					
	1時間	24時間	48時間	72時間	4日	7日
①	2 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
②	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
③	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
④	2 (2)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
⑤	0 (2)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
⑥	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
平均合計評点	0.7 (0.7)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
眼刺激性の評価	無刺激物					

括弧内に対照眼の結果を示した。

点眼後1時間の採点結果は評価に含めなかった。

表-6 合計評点の経時的推移及び眼刺激性の評価(II群)

試験動物	各観察時間における合計評点					
	1時間	24時間	48時間	72時間	4日	7日
⑦	—	2 (2)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
⑧	—	0 (0)	0 (0)	0 (2)	0 (0)	0 (0)
⑨	—	2 (2)	2 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
平均合計評点	—	1.3 (1.3)	0.7 (0)	0 (0.7)	0 (0)	0 (0)
眼刺激性の評価	無刺激物					

括弧内に対照眼の結果を示した。

—: 点眼後1時間では眼洗浄の影響が残るため、結膜の発赤は採点せず。したがって合計評点も算出しなかった。

## 試験報告書

第 299080377-001 号

依頼者 アサヒプリテック株式会社

検体 アクアプロ21Rによる生成水

試験項目 ウサギを用いた眼刺激性試験

平成 11 年 08 月 19 日 当センターに提出された  
上記検体について試験した結果は次のとおりです。

平成 11 年 10 月 15 日

財団法人  
日本食品分析センター

東京本部 〒111-0062 東京都渋谷区元代々木町52番1号  
大阪支所 〒556-0001 大阪府茨田市豊津町3番1号  
名古屋支所 〒466-0044 名古屋市中区大須4丁目5番13号  
九州支所 〒812-0034 福岡市博多区下呉服町1番12号  
多摩研究所 〒206-0025 東京都多摩市永山16丁目11番10号